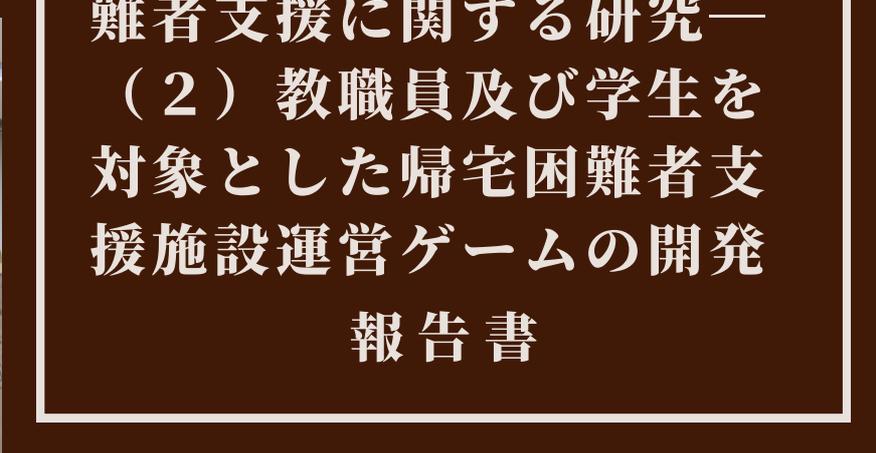


令和4年度「千代田学」に関する  
区内大学等の事業提案制度 共同事業

# 自然災害発生時における 大学を拠点とした帰宅困難 者支援に関する研究— (2) 教職員及び学生を 対象とした帰宅困難者支 援施設運営ゲームの開発 報告書



千代田区内近接大学の高等教育連携強化コンソーシアム



千代田区キャンパスコンソ  
Chiyoda Campus Consortium

2023年3月

## 凡例

- ・本書は、令和4年度「千代田学」に関する区内大学等の事業提案制度 共同事業「自然災害発生時における大学を拠点とした帰宅困難者支援に関する研究—(2) 教職員および学生を対象とした帰宅困難者支援施設運営ゲームの開発」の報告書である。
- ・本書は、千代田区内近接大学の高等教育連携強化コンソーシアム（千代田区キャンパスコンソ／東京家政学院大学・大妻女子大学・共立女子大学・二松学舎大学・法政大学）共同で作成した。
- ・本書の各章の執筆担当は次のとおりである。
  - 第1章：酒井治子（東京家政学院大学）
  - 第2章：水田瑠奈（共立女子大学）、近藤 壮（共立女子大学）、谷島貫太（二松学舎大学）
  - 第3章：伊藤マモル（法政大学）、堀 洋元（大妻女子大学）、酒井治子（東京家政学院大学）  
下坂智恵（大妻女子大学）
  - 第4章：伊藤マモル（法政大学）、酒井治子（東京家政学院大学）、谷島貫太（二松学舎大学）  
近藤 壮（共立女子大学）、堀 洋元（大妻女子大学）
- まとめと今後の展望：酒井治子（東京家政学院大学）
- ・本書各章・各節の執筆者は、文末に記した。また第2章以降の各論については各節の冒頭にも記した。
- ・本書の編集は酒井治子（東京家政学院大学）が統括し、実務を近藤 壮（共立女子大学）が行った。

令和4年度「千代田学」に関する区内大学等の事業提案制度 共同事業

自然災害発生時における大学を拠点とした  
帰宅困難者支援に関する研究  
(2) 教職員および学生を対象とした  
帰宅困難者支援施設運営ゲームの開発

報告書

# 目次

## 第1章 研究事業の概要

第1節	千代田区内近接大学の高等教育連携強化コンソーシアムの概要	4
第2節	千代田区との『大規模災害時における協力体制に関する基本協定』	5
第3節	本研究事業の目的と期待される効果	6
第4節	令和3年度の研究成果	8
第5節	令和4年度の研究目的	10
資料1	大規模災害時における協力体制に関する基本協定	11
資料2	大規模災害時における協力体制に関する基本協定実施細目	12
資料3	5大学備蓄品一覧	14

## 第2章 千代田区における過去の自然災害記録の教材化とワークショップの実施

第1節	天和の大火について	16
第2節	千代田区における過去の自然災害について—関東大震災100年—	20
第3節	千代田区の災害に関するウィキペディア記事執筆ワークショップの実施	25

## 第3章 防災に必要な情報・備蓄品等のアーカイブ化

第1節	模擬的な帰宅困難者一時滞在支援施設における一泊二日がストレス関連指標に及ぼす影響	36
第2節	帰宅困難者支援施設における想定されるトラブルの収集	51
第3節	災害時の帰宅困難者に向けた栄養・食支援～要配慮者（乳幼児）に注目して	53
第4節	災害時に役立つ簡単クッキング方法の検討（第2報）—備蓄食品を用いた料理の実習効果—	63

## 第4章 帰宅困難者支援施設運営ゲーム（KUG）の開発と評価

第1節	法政大学において実施された学生及び教職員によるKUGの報告	80
第2節	東京家政学院大学において実施された学生及び教職員によるKUGの報告	95
第3節	二松学舎大学において実施された学生及び教職員によるKUGの報告	106
第4節	共立女子大学において実施された学生及び教職員によるKUGの報告	112
第5節	大妻女子大学において実施された学生及び教職員によるKUGの報告	118
第6節	5大学で実施された学生及び教職員によるKUGの評価	128

まとめと今後の展望	134
-----------	-----

謝辞・執筆者一覧	135
----------	-----